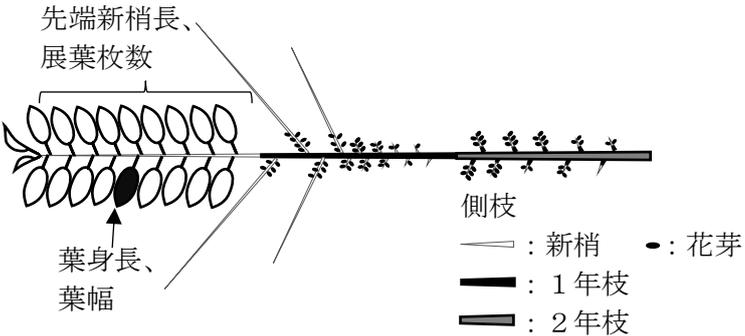


[果樹部門 令和4年度 指導参考資料]

事項名	おうとう「ジュノハート」の若木期における好適樹相																						
ねらい	「ジュノハート」の花芽着生は、中程度で「佐藤錦」や「紅秀峰」よりやや少ない。初期収量を高めるためには、樹の養成と果実肥大、花芽着生のバランスが良いことが必要である。4～5年生の若木期における好適樹相が明らかとなったので参考に供する。																						
指導内容	<p>1 若木期の好適樹相 4～5年生樹で、「果実横径 28mm 以上」かつ「充実した結果枝割合 60%以上」を目標に、概ね 80%達成できる側枝（主枝候補枝）の「望ましい生育量」は、以下のとおりである。</p> <p>時期別の望ましい生育量</p> <table border="1" data-bbox="327 667 1375 907"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>満開 35 日後頃 (6月上旬)</th> <th>収穫直前 (6月下旬～7月上旬)</th> <th>樹勢判断の 優先順位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>先端新梢長</td> <td>10～20cm</td> <td>40～60cm</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>展葉枚数</td> <td>9～10 枚</td> <td>16～20 枚</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>葉身長</td> <td>13～16cm</td> <td>13～17cm</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>葉幅</td> <td>6～7 cm</td> <td>7 cm</td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 生育量の判定部位</p>  <p>3 台木別樹勢管理の留意点 (1) アオバザクラ台：樹勢が弱くなる傾向であるため、樹勢の維持に努める。 (2) コルト台及びダーレン台：樹勢が強い傾向であるため、立ち気味の枝は下方へ誘引し、減肥も考慮して、樹勢を落ち着かせる。</p>			項目	満開 35 日後頃 (6月上旬)	収穫直前 (6月下旬～7月上旬)	樹勢判断の 優先順位	先端新梢長	10～20cm	40～60cm	①	展葉枚数	9～10 枚	16～20 枚	②	葉身長	13～16cm	13～17cm	③	葉幅	6～7 cm	7 cm	④
項目	満開 35 日後頃 (6月上旬)	収穫直前 (6月下旬～7月上旬)	樹勢判断の 優先順位																				
先端新梢長	10～20cm	40～60cm	①																				
展葉枚数	9～10 枚	16～20 枚	②																				
葉身長	13～16cm	13～17cm	③																				
葉幅	6～7 cm	7 cm	④																				
期待される効果	果実肥大が良く、花芽着生率も増すことで、若木期での大玉果の安定生産が見込まれる。																						
利用上の注意事項	切り詰めをしてない側枝の調査結果に基づく。																						
問い合わせ先(電話番号)	りんご研究所 県南果樹部 (0178-62-4111)	対象地域及び経営体	県内全域の「ジュノハート」作付経営体																				
発表文献等	令和元、2年度 りんご研究所試験研究成績概要集（特産果樹）																						

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 果実の大きさや花芽着生に対する生育量との相関関係 (令和元年～2年 青森りんご研県南果樹)

項目	果実横径		充実した結果枝割合	
	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年
調査数	n=61	n=73	n=35	n=55
満開 35 日後頃				
先端新梢長	0.509 **	0.695 **	-0.168	-0.763 **
展葉枚数	0.419 **	0.741 **	0.519 **	-0.757 **
葉身長	0.343 **	0.636 **	-0.609 **	-0.563 **
葉幅	0.326 *	0.236 *	-0.600 **	-0.582 **
収穫直前				
先端新梢長	0.316 *	0.699 **	-0.801 **	-0.813 **
展葉枚数	0.395 **	0.743 **	-0.772 **	-0.811 **
葉身長	0.414 **	0.563 **	-0.596 **	-0.795 **
葉幅	0.327 **	0.495 **	-0.778 **	-0.866 **

- (注) 1 平成 28 年 4 月に 1 年生苗を定植した「ジュノハート」を、県南果樹部はアオバザクラ台樹、コルト台樹、ダーレン台樹を各 3～5 樹、三戸町 1 園地及び南部町 2 園地はアオバザクラ台樹を 2 樹、コルト台樹を 1 樹供試した。各樹の側枝（主枝候補枝）3～4 枝について、各項目を調査した。なお、欠測がある側枝のデータは全て除外して集計した。調査側枝は、令和元年現在、枝齢が 2～3 年枝、新梢を除く側枝長の平均がアオバザクラ台で 149cm、コルト台で 210cm、ダーレン台で 232cm であった。
- 2 新梢長と展葉枚数は、側枝先端から発生した新梢（先端の新梢）を調査し、その中位葉の葉身長と葉幅を調査した。花芽数は、新梢及び花束状短果枝（以下、花芽が着生しなかった枝も合わせて「結果枝」という。）について落葉後に調査した。
- 3 「充実した結果枝割合」＝「花芽が 4 芽以上着生した結果枝数」／「全結果枝数」で算出した。
- 4 相関分析により、**は 1%、*は 5% 水準で有意。

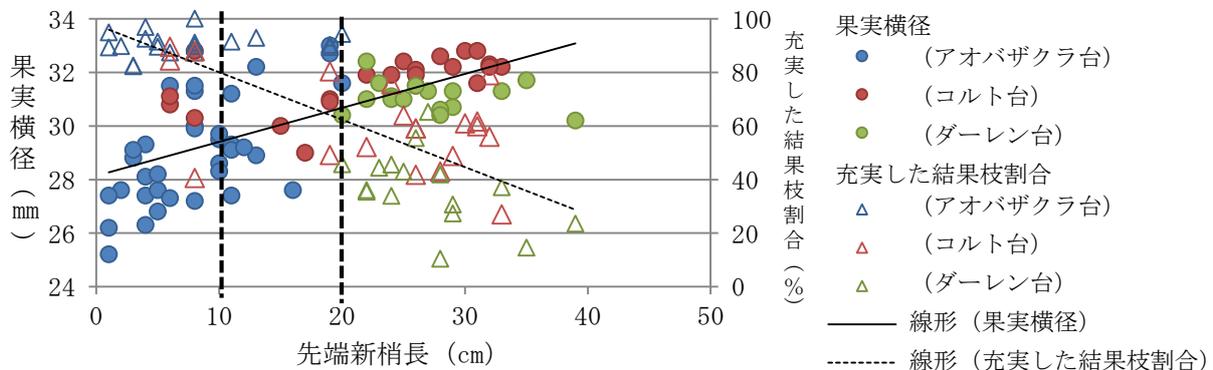


図 1 先端新梢長（満開 35 日後頃）と果実横径及び充実した結果枝割合との関係 (令和 2 年 青森りんご研県南果樹)

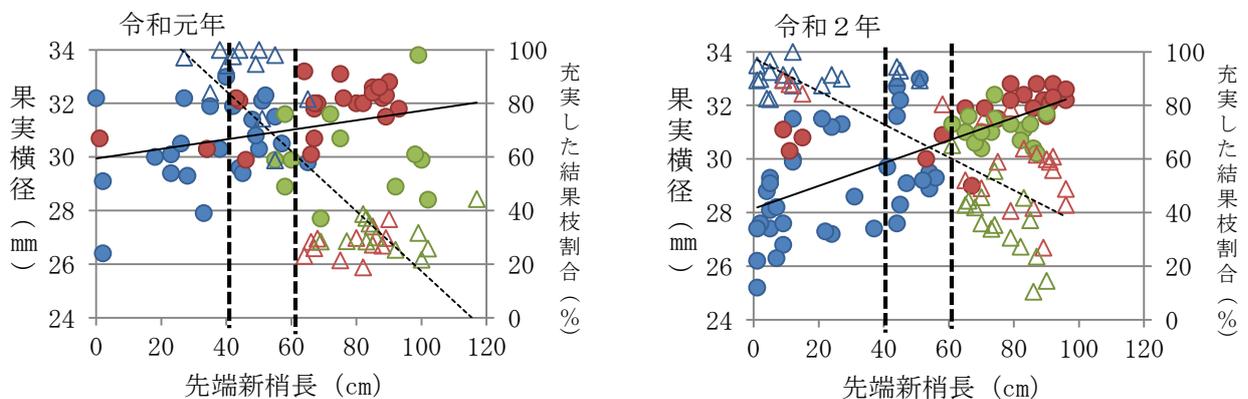


図 2 先端新梢長（収穫直前）と果実横径及び充実した結果枝割合との関係 (令和元年～2年 青森りんご研県南果樹)

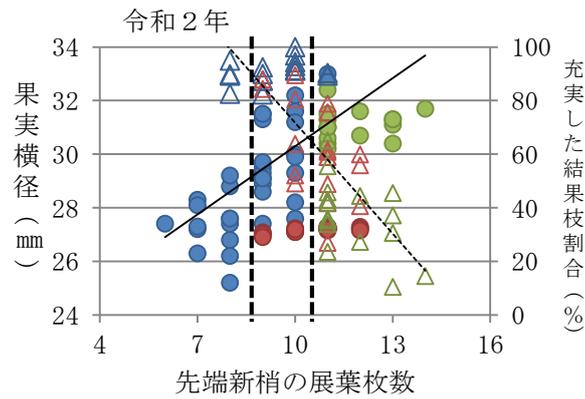


図3 先端新梢の展葉枚数（満開35日後頃）と果実横径及び充実した結果枝割合との関係
（令和2年 青森りんご研県南果樹）

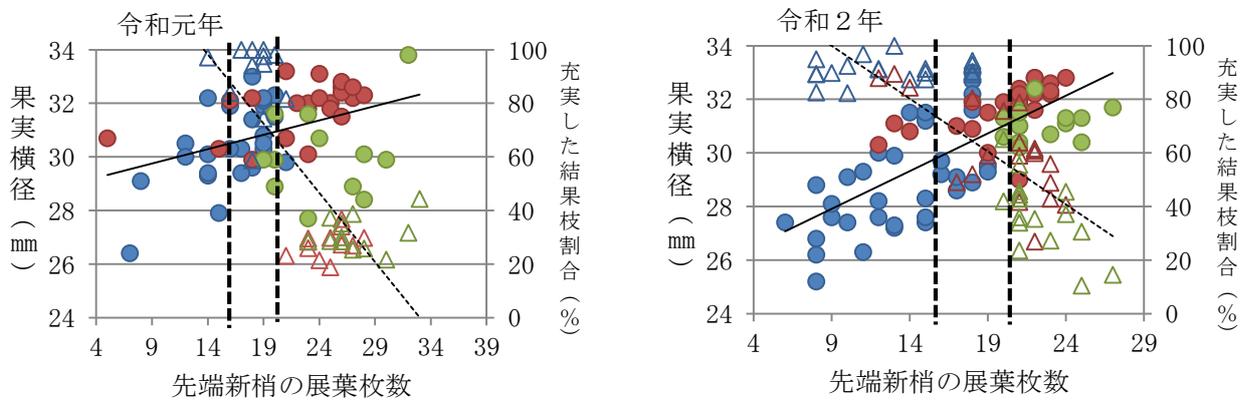


図4 先端新梢の展葉枚数（収穫直前）と果実横径及び充実した結果枝割合との関係
（令和元年～2年 青森りんご研県南果樹）

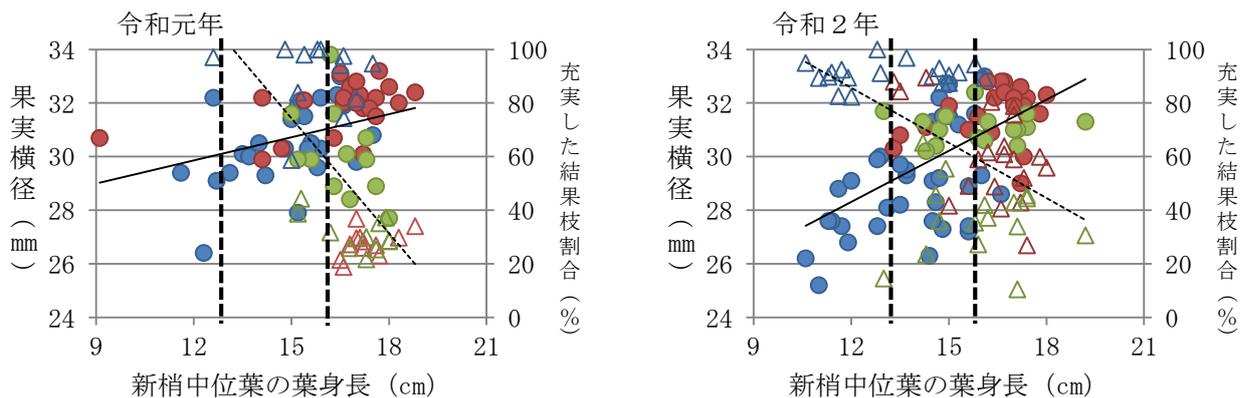


図5 新梢中位葉の葉身長（満開35日後頃）と果実横径及び充実した結果枝割合との関係
（令和元年～2年 青森りんご研県南果樹）

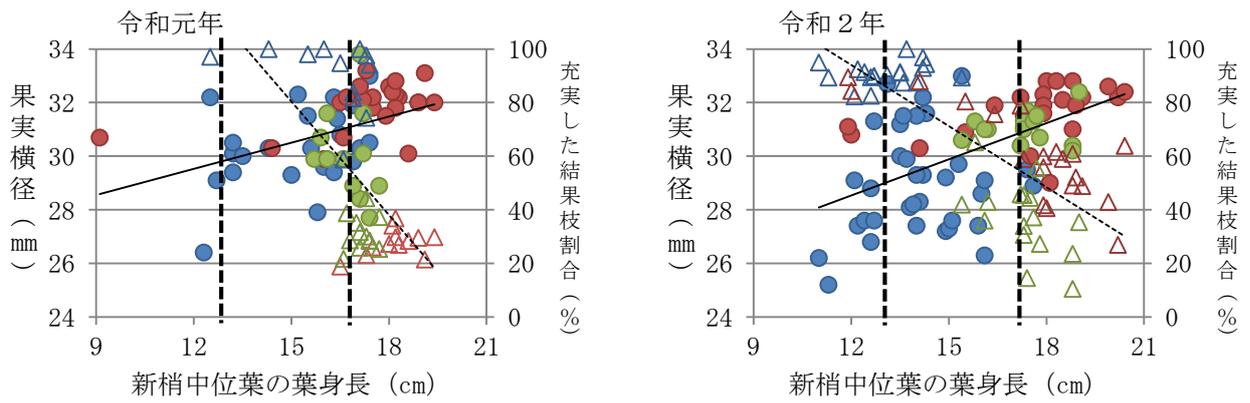


図6 新梢中位葉の葉身長（収穫直前）と果実横径及び充実した結果枝割合との関係
（令和元年～2年 青森りんご研県南果樹）

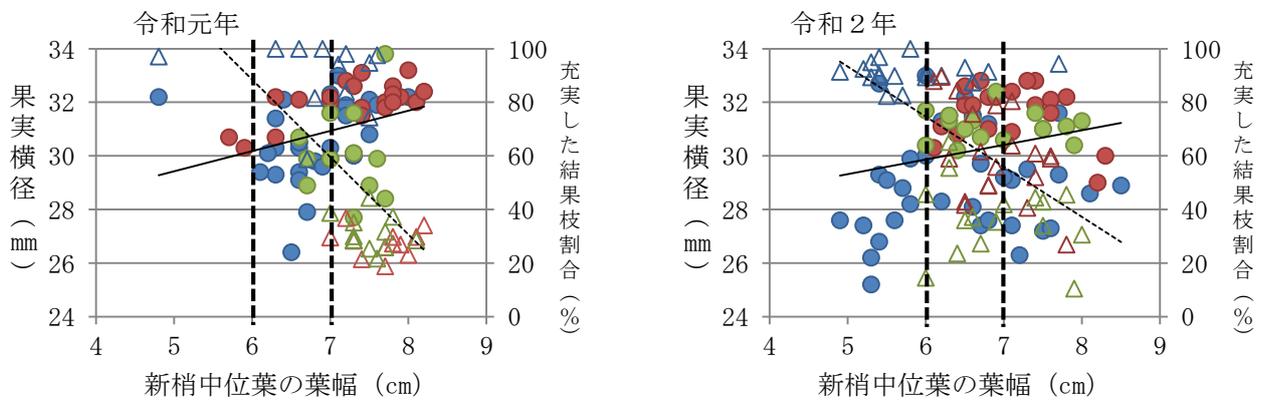


図7 新梢中位葉の葉幅（満開35日後頃）と果実横径及び充実した結果枝割合との関係
（令和元年～2年 青森りんご研県南果樹）

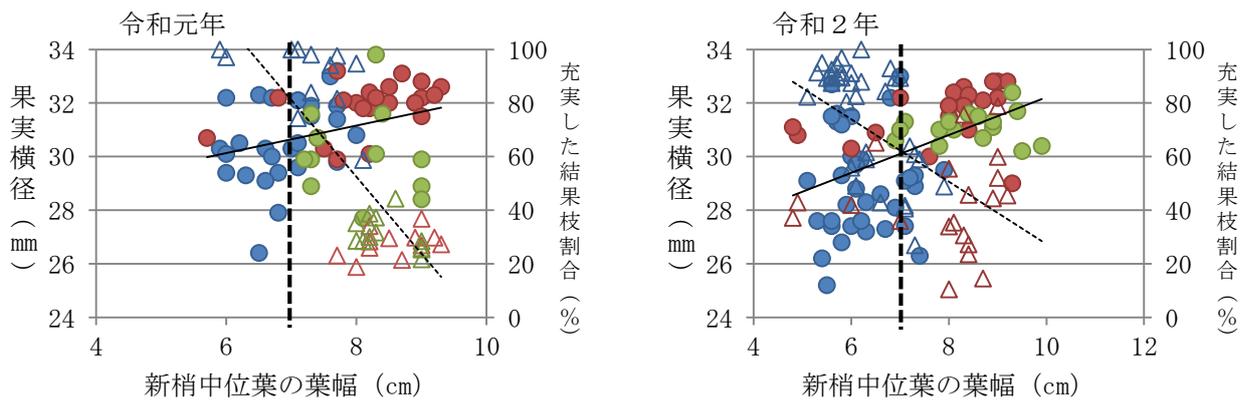


図8 新梢中位葉の葉幅（収穫直前）と果実横径及び充実した結果枝割合との関係
（令和元年～2年 青森りんご研県南果樹）